

ヒト由来グリコーゲンホスホリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0842

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グリコーゲンホスホリラーゼは、ホスホリラーゼ酵素の一つです (EC 2.4.1.1)。それはグリコーゲンをグルコースサブユニットに分解します。グリコーゲンは1つのグルコース分子を失い、自由なグルコース分子はグルコース-1-リン酸の形になります。代謝に使用されるためには、酵素ホスホグルコムターゼによってグルコース-6-リン酸に交換される必要があります。グリコーゲンホスホリラーゼは、グリコーゲンの線状鎖 (α 1-4 グリコシド結合) にのみ作用することができます。その作業は、1-6分岐から4残基離れたところで直ちに停止します (これはグリコーゲンに非常に一般的です)。このような状況では、該当部分の鎖をまっすぐにするために脱分岐酵素が必要です。さらに、新しい線状鎖に残る1-6残基を分解するために、 α 1-6 グルコンダーゼ酵素が必要です。これらすべてが完了した後、グリコーゲンホスホリラーゼは続行することができます。

用途 免疫測定法とウエスタンブロット。

別名 グリコーゲンホスホリラーゼ; 筋肉ホスホリラーゼ **a** および **b**; アミロホスホリラーゼ; ポリホスホリラーゼ; アミロペクチンホスホリラーゼ; グルカンホスホリラーゼ; α -グルカンホスホリラーゼ; 1,4- α -グルカンホスホリラーゼ; グルコサンホスホリラーゼ; グラニューロースホスホリラーゼ; マルトデキストリンホスホリラーゼ; 筋肉ホスホリラーゼ; ミオホスホリラーゼ; ジャガイモホスホリラーゼ; デンプンホスホリラーゼ; 1,4- α -D-グルカン:リン酸 α -D-グルコシルトランスフェラーゼ; ホスホリラーゼ; EC 2.4.1.1; GPBB

製品情報

種 人間

由来 E. coli

外形 無色の滅菌フィルター処理された液体製剤。

CAS登録番号 9035-74-9

純度 85.0%を超える、(a) RP-HPLCによる分析。(b) SDS-PAGEによる分析。

緩衝液 0.8 mg/1ml、各mgのタンパク質には50%のグリセロールが含まれています。

保管・発送情報

安定性 GPBBは10°Cで7日間安定していますが、-18°C以下で乾燥した状態で保管する必要があります。凍結-解凍サイクルを防いでください。